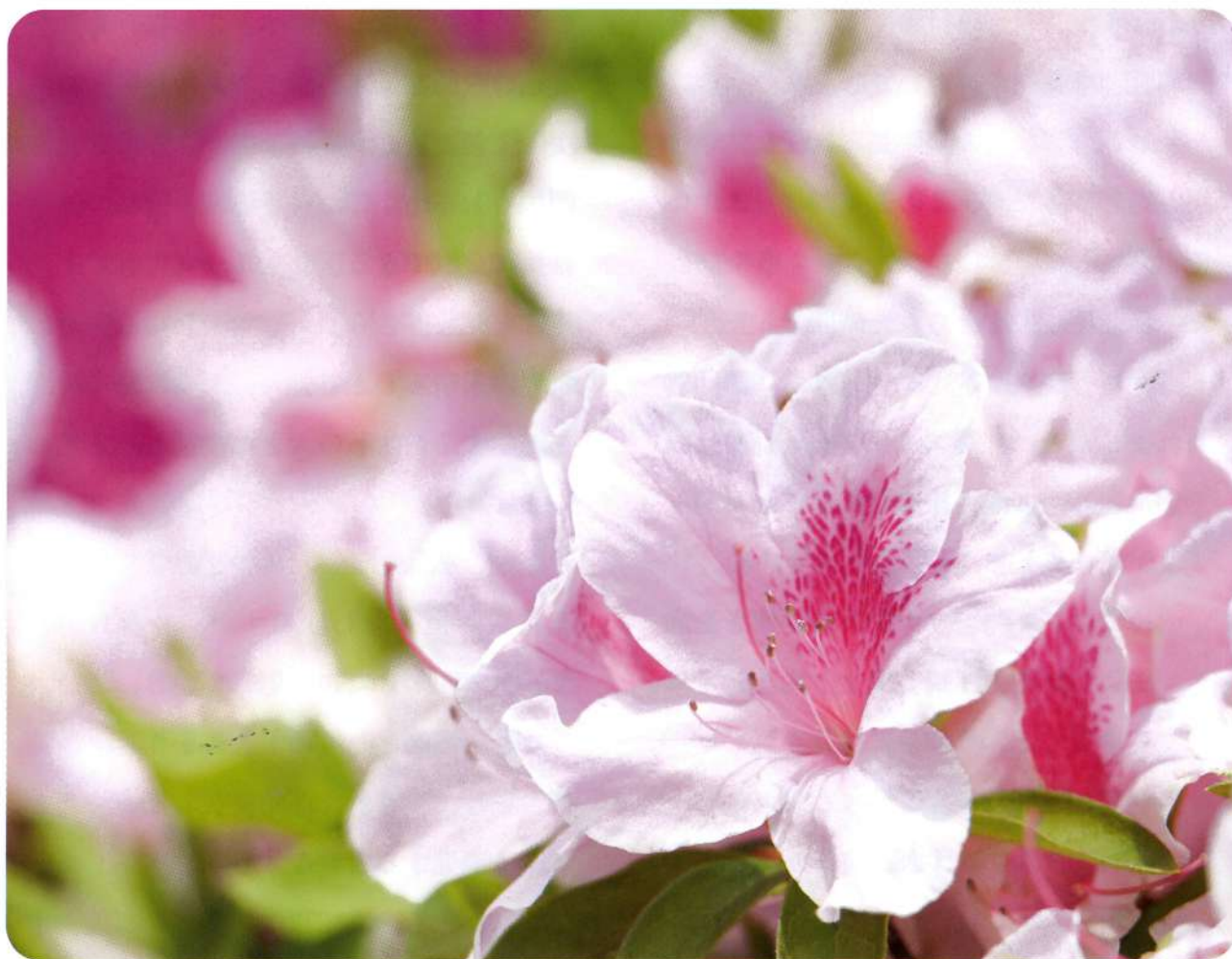


医療法人 光善会 長崎百合野病院

# 百合野ニュース

- 1 理事長就任あいさつ／橋本敦郎 理事長
- 2 院長就任のご挨拶／田島義証 院長
- 3 2023年2月9日消防訓練を実施しました
- 4 瀬良名誉院長挨拶
- 5 第22回 光善会学会が開催されました
- 6 特集「本当は怖い慢性閉塞性肺疾患=COPD」
- 7 新入職員紹介



## 長崎百合野病院の理念

人にやさしい、温かい病院  
安全で質の高い医療、品格のある病院  
地域から信頼され、選ばれる病院

理事長挨拶

## 理事長就任あいさつ

理事長 橋本 敦郎



令和5年4月1日付けで光善会長崎百合野病院理事長職を拝命いたしました。

長崎百合野病院の病院長に就任して早2年が過ぎましたが、この2年間は日本中いや世界中が新型コロナウイルス感染症によって右往左往させられた時間でした。

当院でも突然の院内クラスターに数回襲われましたが、病院スタッフが一丸となって感染症対策に取り組みなんとか乗り切ることが出来ました。

改めてアフターコロナ対策の困難さを痛感していた矢先、江崎会長より病院長を辞して理事長にという辞令には耳を疑いました。理事長職に就任など夢にも思っていなかったのですが、なにをすれば良いか全く見当がつかない中で、再び私なりに光善会グループ全体のビジョンを思い巡らせています。

これからの私がなすべきことは、もう一度私の医師としての原点である地域医療に戻って訪問診療や検診部門、さらに介護部門にも力を注ぐことで、地域の皆様の健康維持に貢献できる医療グループに育て上げることです。さらに一般の方々にも医療の世界の素晴らしさを伝え、一緒に働く仲間を増やすことも私の大きな役割と考えております。

今後の私は光善会グループの将来を考える重責を担ったわけですから、新しいステージで頑張りたいと思っており、このような私の医師としての集大成を作り上げる機会を与えてくれた江崎会長の期待に応えるべく邁進する所存です。

これからも今まで以上に皆様のご協力をお願いいたします。

院長挨拶

## 院長就任のご挨拶

院長 田島 義証



令和5年4月1日付けで病院長を拝命させていただきました。私は長崎大学医学部移植・消化器外科の一員として消化器外科、とりわけ肝胆膵外科を専門に修練を積んで参りましたが、縁あって、2011年10月から2023年3月まで島根大学医学部消化器・総合外科に教授として奉職し、12年ぶりに長崎に戻って参りました。十年一昔と申しますが、長崎駅周辺は勿論のこと、時津、長与の街並みの変貌には驚きを隠し得ませんでした。

さて、風邪やインフルエンザにかかった経験は誰しもあると思いますが、罹患すると途端に食事が味気ないものになります。そして、症状がよくなると、ご飯粒のひとつひとつが、こんなに美味しいものであったことに気付かされます。すなわち、健康

であることの有り難さや、さりげない生活に幸せを感じることができる有り難さは、病気になって初めてわかります。患者さんたちは、少なからず何らかの苦痛を持って来院されます。私たちには的確な状況判断と迅速な対応、そして介護の必要性を含めて、適切な医療を提供することが求められますが、誰かがつまずいたり転びそうになったらそっと手を差し伸べる、その指先に、ありがとうと言ってもらえるような病院を目指していきたいと考えています。

超高齢社会において社会構造と疾病構造が大きく変化する中、当院は、予防医療から急性期医療、そして在宅医療を一貫して提供する中核病院として地域住民の皆様に貢献していきたいと思っております。皆様方のご支援ご理解をよろしくお願い申し上げます。



## 瀬良名誉院長挨拶

4月1日を持ちまして理事長職を退任し、名誉院長職として診療も引き続き行います。

今後ともよろしくお願いいたします。

Topics

1

## 2023年2月9日消防訓練を実施しました

感染状況を見ながらでしたが、臨場感のあるシミュレーションとなりました。

訓練後の振り返りでは、報連相（報告・連絡・相談）と情報の共有の充実が必要との反省もありました。いざという時パニックを起こさず、『安全』で『確実』に行動できるよう教訓を生かしていきます。



Topics

2

## 第22回 光善会学会が開催されました

2月11日から17日までの間、14題+3題の個人研究発表が研修室に掲示され、一昨年より導入された職員への一斉メールシステムを使い、全職員に閲覧評価、投票してもらいました。

今回は、高齢者ならではの問題を取り上げ、問題点を共有しケアプランに反映できるシステム作りのための考察と方法の研究が多かったようです。社会的にも大きな問題になっている内容でしたが結果は、1位、2位、3位ともに災害時対策、手術時の保温対策、働き方改革についての発表が皆の評価を集めました。

第一位：栄養科

2022年台風14号を経て、対策と今後の課題

第二位：手術室

手術室における体温管理 ～効果的な保温法を目指して～

第三位：検査科

検査科の働き方改革

第22回  
光善会学会

～ポスター形式～  
2月11日(土・祝)～2月17日(金)  
8:30～20:00 (2/17は16時まで)

B棟G階研修室

栄養科の発表は、BCP（非常時の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続・早期復旧を可能とするための計画）を考案策定しており、実際には台風被害を被らなかったため行われませんでした。今後起こりうる災害を想定し、対策し、今後の課題について明確にした内容でした。私たちの知らない所で、患者の「食」が守られていたことを知りました。

## 知ってほしい病気の話

## 本当は怖い慢性閉塞性肺疾患 = COPD



内科医 大坪 孝和

慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：以下 COPD）という病名ですが、世間一般にはまだまだ滲透しているとは言い切れないところです。一言でいえば、徐々に肺の機能が落ちたり肺の構造が崩れていったりして、最終的には体への酸素の取り込み能力が落ちてしまう病気の一つです。肺気腫や慢性気管支炎といった病名で馴染みがあるかもしれませんが、これらの病気をひとまとめにして COPD と呼称しております。

COPD の起源ですが、古くは産業革命時代にさかのぼります。蒸気エンジンが開発され石炭の需要が爆発的に増えたころに、慢性的な咳・痰や息切れがひどくなる炭鉱夫が増えたことから定義された「慢性気管支炎」という病名からスタートしています。

職業性疾患としてその歴史が始まった COPD ですが、現在もっとも多い原因は何といっても「喫煙」です。そのため、癌や心筋梗塞・脳卒中と並んで「第4の成人病」と言われていたこともありました。

病名に「閉塞」とついているのは、空気の通り道＝気管支の内側の空気が通るスペースが様々な理由で狭くなり、換気の効率が悪くなることで肺の能力が落ちてしまうからです。タバコの煙で気管支の内壁が常に刺激を受け

ていると、壁がだんだん腫れてきて内腔が狭くなります。さらに、煙の中のヤニや微粒子を洗浄しようと痰が常時生成され続け、やがて気管支の中が痰で埋め尽くされてさらに空気が通らなくなります。また、肺の細かい構造もタバコの煙の成分などで破壊され、きめ細かいスポンジのような肺がスカスカな風船の塊みみたいに無構造な状態になり、もはやここでは酸素を体に取り込むことや二酸化炭素をはき出すことさえできなくなります。これが「肺気腫」という状態で、病状が進行すると酸素吸入器がなければ日常生活が営めなくなります。そして、ダメージを受けた肺は再生をしないので、自然治癒も望めないのです。

喫煙は最も身近で、かつ最も強力な COPD 発症の危険因子です。ただ、すべての喫煙者がそのようになってしまうわけではないのも事実でありまして、嗜好品や課税対象としてタバコは社会から完全に無くなってしまいう見込みがないのが現実です。確実に言えることとしては、喫煙を続けることは COPD という怖い病気になるかならないかのギャンブルをしているようなものです。まっとうに息ができない方々の苦しみを目の当たりにしている医療従事者としては、皆様には是非とも禁煙をお願いしたいです。

## 新入職員紹介

### 医師



こじま みちこ  
小島 勉子

4月1日付けで長崎百合野病院の整形外科医局に入局いたしました。  
異動前は長崎労災病院で、主に上肢の外傷を診療していました。  
6月からは外来を担当する予定です。

### 看護師 (9名)

梅枝 知佳 ・ 松原 夏美 ・ 高木 桃 ・ 田中 美貴 ・ 川口千亜希



河内 乃愛

3日間の集合研修で百合野病院の使命、理念、指針、医療人としての心得を学びました。同期新人の集合研修では、コミュニケーションを取りながらの演習もあり、分らないことは周りへ教えあうことが出来て良かったです。



今泉 穂香

私は「いつでも優しく看護を提供出来る」を目標として、先輩たちに教えてもらいながら、なりたい看護師になることが出来るように頑張っていきたいと思います。



原 洋子

集合研修の中で他職種の同期とのコミュニケーションが深められ、気軽に声を掛け合うことが出来るようになりました。そんな同期となら、これから先も色々なことを乗り越えていけるとと思います。



江島 ふうか

3日間の研修の中で、様々な職種の話聞き刺激を受け、初めて聞く言葉に、医療についての興味がますますわいてきました。今後は、実践し身に付けていきたいです。

### リハビリテーション科 (5名)



田中 廉都

社会人として、医療人としての自覚を持ちこれからの仕事に取り組んでいきたいと思った研修でした。今年度の目標としてリスク管理を徹底して業務に取り組んでいきたいと思っています。



大楠 怜奈

地域の救急医療という重要な役割を担い、急性期から回復期、地域ケア病棟といった幅広い病期の病棟を持ち、患者様をサポートする体制がととのっていることをご存知でした。



### 馬場 大輝

全ての職種が連携を取らないと患者様に最善の医療を提供できないのだと感じました。職種を超えて些細なことでも相談できるような信頼関係を築き上げたいです。



### 山元 和真

理学療法士として必要不可欠な移乗動作を安全に行い、他職種の人にも指導できるようになりたいと思います。



### 中尾 楓

自然と相手とのコミュニケーションを取れる他己紹介で、初日にまったく会話がなかった同期含め多職種の人達とたくさん話す機会が出来ました。これからもたくさんのことを吸収しつつ一生懸命努力していきたいと思っています。

## 事務部 (3名)



### 山下 楓香

3日間のオリエンテーションで患者様に気持ちよく帰って頂くためには、百合野病院の3つの理念を意識して日々仕事に励んでいかなければならないと強く感じました。



### 本多 蓮袈

今までは医療を提供される側でしたが、これからは提供する側にいることを自覚して、百合野病院の信頼を高めていけるような人材になりたいです。



### 中村 紗梨

患者さんに対しては、笑顔であいさつし、わからないことを聞かれたときはあやふやに接せず、先輩に聞いて、学ぶ姿勢の習慣をつけることを心掛けていきます。

今年度も新卒職員を迎えました。感染予防を徹底しながら研修を実施しています。入職してそれぞれの部署に配属される前3日間の集合教育は、異なる部署の新人が一堂に会して研修を行うことで、強い絆で結ばれ、今後チームとして対等の立場で連携し活動する原点になっていきます。新入職員にとっては社会人として、医療人として多くのことを学ぶ一年になります。その道にはたくさんの壁があることでしょう。一つ一つの努力が実を結ぶには時間がかかるかもしれません。その時は、多くの仲間が支え、一緒に壁を乗り越えて成長していこうと思います。よろしく願いいたします。



看護部長 平山 佐代子

外来案内

# 救急告示病院

診療時間

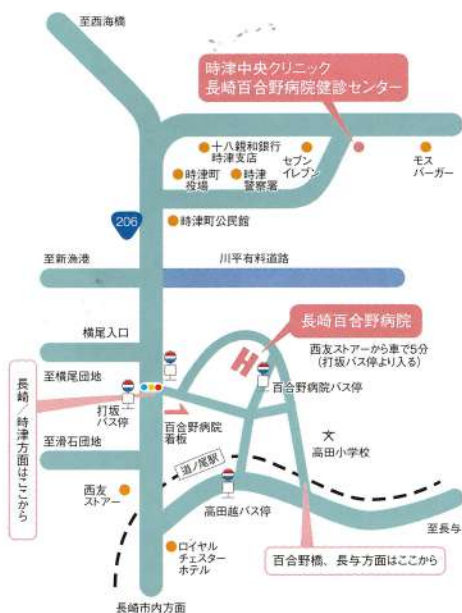
平日：8時30分～12時00分／13時00分～17時00分  
土曜日：8時30分～12時00分

休診日

日曜日・祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

**ただし急患の方は、24時間受け付けます**

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	瀬良	鈴木	森	瀬良	鈴木	常勤医 で対応
		徳永	玉井	梶山 長大整形外科	徳永	玉井	
		横田 長大整形外科	森	松本	森	津田 (月1回)	
		松本					
	内科	橋本	瓜生	朝野 長大呼吸器	豆谷	大坪	常勤医 で対応
		朝野 長大呼吸器	大坪 呼吸器	大坪 呼吸器	大曲 消化器	橋本 呼吸器	
瓜生 呼吸器		豆谷 消化器	橋本 呼吸器	瓜生 呼吸器	豆谷 消化器		
内視鏡検査	豆谷	緊急時のみ	豆谷	緊急時のみ	緊急時のみ		
外科	田島	七条	田島	七条	田島	交替制	
脳外科			日宇 長大脳外科	馬場 長大脳外科			
午後	外科	七条	足立 長大外科	七条	金高 長大外科	第1, 3, 5週：七条 第2, 4週：森田	
	専門外来	大坪 呼吸器	橋本 呼吸器	本川 長大循環器	大坪 呼吸器	竹中 長大循環器	
		睡眠時無呼吸 橋本			心臓血管外科 七条	呼吸不全・喘息 瓜生	
放射線科	石丸	大学医師 (午後)	大学医師 (午前)	石丸	大学医師 (午前)		
リハビリ科(午前・午後)	立石	谷口	谷口	立石/谷口 (午前) (午後)	立石	常勤医で対応	



医療法人 光善会 **長崎百合野病院**

〒851-2103 長崎県西彼杵郡時津町元村郷 1155-2

TEL.095-857-3366 FAX.095-856-6663

HP <http://www.yurinohp.jp> E-mail [yurinojm@cello.ocn.ne.jp](mailto:yurinojm@cello.ocn.ne.jp)

